



食とみどり・水を守る徳島県民会議で講演

5月17日、徳島市内で行われた食とみどり・水を守る徳島県民会議において、署長が「森林・林業・木材産業の現状について」をテーマに講演しました。これまで直接、森林や林業に接することがなかったことから、身近な森林について十分に理解できていなかった会員約60名を対象に、人工林を中心に資源が充実し、それらを生活の中で適材適所に利用していくことの重要性、木材利用拡大へ向けた取組や、森林環境税・譲与税など多岐にわたって説明しました。聴講した会員は、真剣な眼差しで聴き入り、森林が私たちの生活や経済活動に深く関係していることに驚いたようでした。徳島署では、今後もこのような活動を展開していきます。



署長による講演



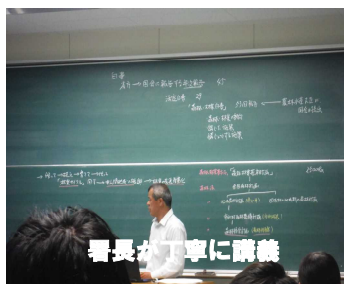
講演の様子



署長による講演

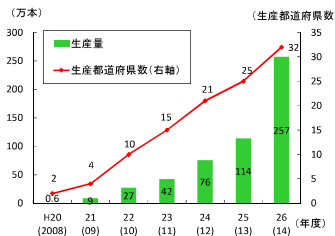


講演内容の1コマ



署長が丁寧に講演

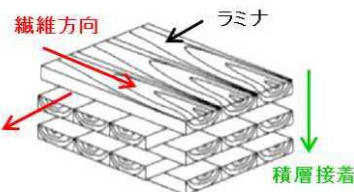
コンテナ苗生産量を説明



那賀高校への森林環境教育を行いました

5月8日、平成28年度から継続的に取り組んでいる那賀高校森林クリエイト科3年生(19名)への森林環境教育(出前講座)を行いました。7回目となる今回の森林環境教育では、「森林・林業白書」をテーマ行いました。これまで2年間で行ってきた6回の講義内容を総括した内容で、学生たちは真剣に耳を傾けていました。3年生にとって残すところ2回となる森林環境教育は、2学期に木質バイオマス発電施設見学と3学期の意見交換会となります。徳島森林管理署では、最後の意見交換会まで全力で取り組んでいきます。また、併せて1、2年生へも継続して取り組んでいます。

CLTの普及について説明



真剣に聴く学生

路網による森づくりに取り組む林家を視察

家族経営による自然と調和した高密度路網と美しい森づくりに取り組む橋本林業(徳島県那賀町)を視察しました。橋本林業は、約101haの山林を経営する家族経営専業林家で、地形に配慮した総延長約30Km、300m/haの高密度作業道を整備し、長伐期優良大径材生産を行っています。今回視察した橋本林業では、針広混交林を目指し、環境に配慮した経営、長伐期優良大径材生産を目指し、枝打ち、間伐、択伐を適切な時期に行う、持続可能な林業を実現するため、高密路網を充実させ、機械化、合理化を図る、人と人とのつながりを大切に、理解を得られる林業経営を目指す、の4つの経営方針の下、家族3名で経営しています。



橋本氏の説明を聞く職員



林内の多様な樹種に驚く



驚かない、手間いらずの作業道

■ 橋本林業の作業システム

(1) 作業システム

```

伐採・造材 (チェーンソー) → 集材・搬出 (小型バックホウ(304WD)スタンプフォーク)
  
```

(2) 作業道

- 幅員 2m~2.3m
- 線形
- クサを通る
- 幹線：ヘアピンカーブで急勾配ながら尾根を登る
- 支線：ヘアピンカーブから適当なタナを探してできるだけ横へ進む
- 土工
- 切取法高は原則1.4m以内
- 切取法高は高さに応じた工法を用いる
- 急勾配で土質の悪い所は丸太組
- 路面は天ดิน返し
- その他
- 洗い廻し、排水処理



徳島庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

